

第 55 回茨城県障害者技能競技大会

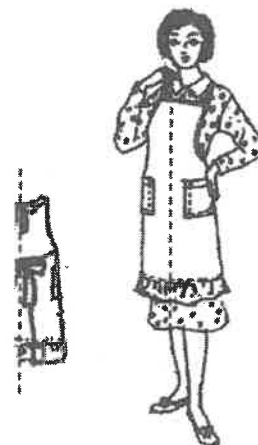
1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料で右図スタイルのエプロン右半身を製作しなさい。

2 競技時間 2 時間 00 分

3 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら審査員に申し出る。



4 仕様

- (1) 肩 ひ も : 2 cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰 ひ も : 上下を 0.5 cm 巾の三つ折り縫いし、先を三角になるように中縫いし返してステッチをかける。付け側は 4 cm 巾にタックをとる。
- (3) ダーツ縫い : 中縫いをする、縫い代は中心側へ倒す。
- (4) ポケット
ポケット口 : 1 cm、2 cm で三つ折り縫いとする。
ポケット付け : (図 1) ポケットの付け方を参照する。
端ミシン、押さえ金の幅(0.6 cm)のダブルステッチとする。
- (5) 見返し : 見返し布の下側を 0.5 cm、1 cm の三つ折り縫いとする。
- (6) 肩ひも付け : 見返しに挟み付ける。
- (7) 袖ぐりカーブ : 1 cm 折り、袖ぐりから胸のステッチ幅は 0.6 cm の押さえ金の幅でかける。
- (8) フリル
フリル作り : できあがり幅 10 cm、右脇は 0.5 cm の三つ折り縫いとする。
フリル付け : ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ(付け縫い代右端はわき縫い代で挟みつける)押さえ金幅(0.6 cm)のステッチをかける。
- (9) 脇 : 1 cm、1.5 cm で三つ折り縫いとする。スケッチの順序はフリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いをする。

支給材料

- (1) 表地 (綿ツイル) : 半身分

裁断済みで袖ぐり、フリル上部はロック処理済 肩ひも折アイロン済み、フリル下部は三つ折り縫い済 見返し布は処理済、フリルギャザー寄せ地縫い済

- (2) ミシン糸 : 1 個

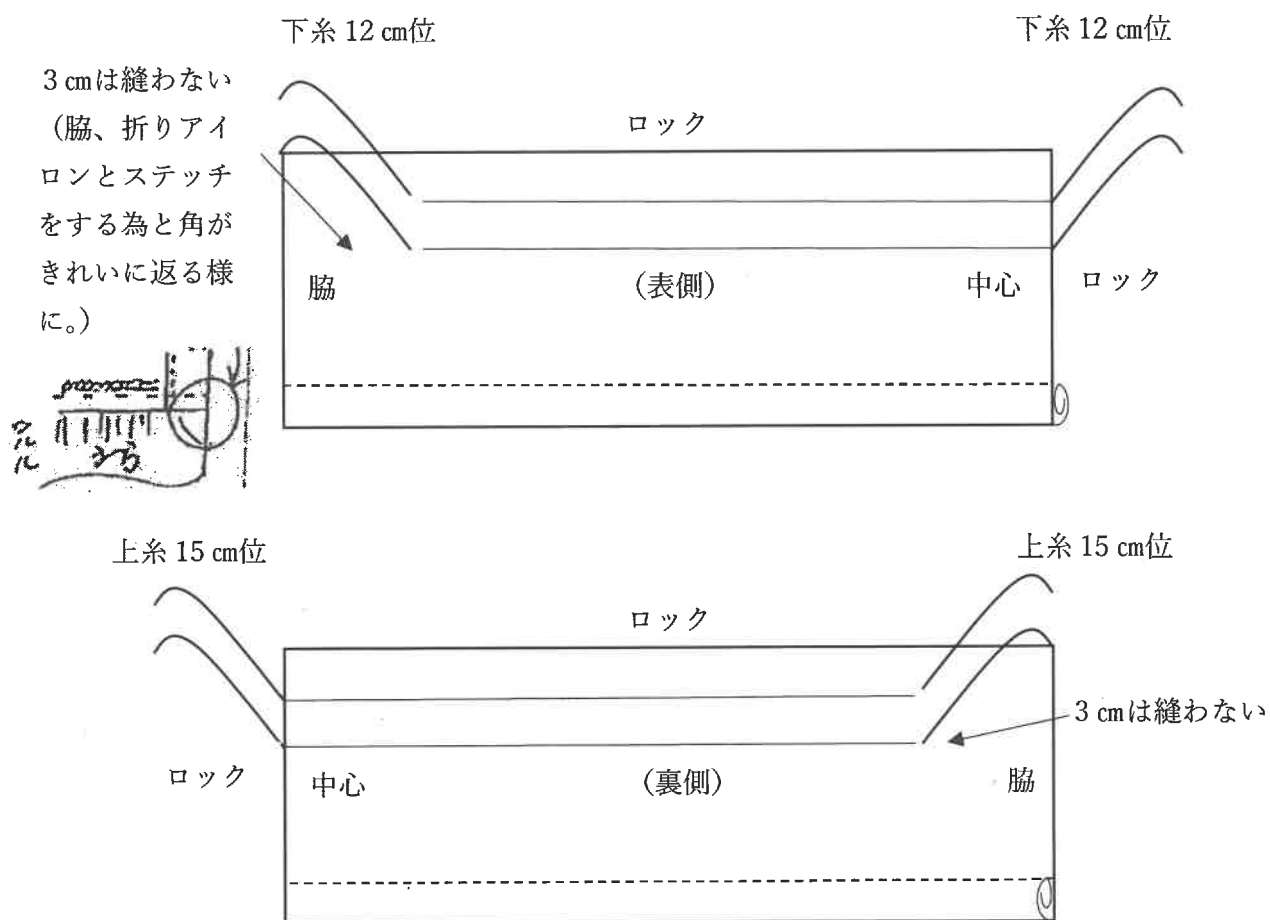
支給材料 フリルの処理について (連絡)

支給材料のうち、裾フリルについては、下記のとおり処理済みとなります。

記

裾フリルの処理済み内容

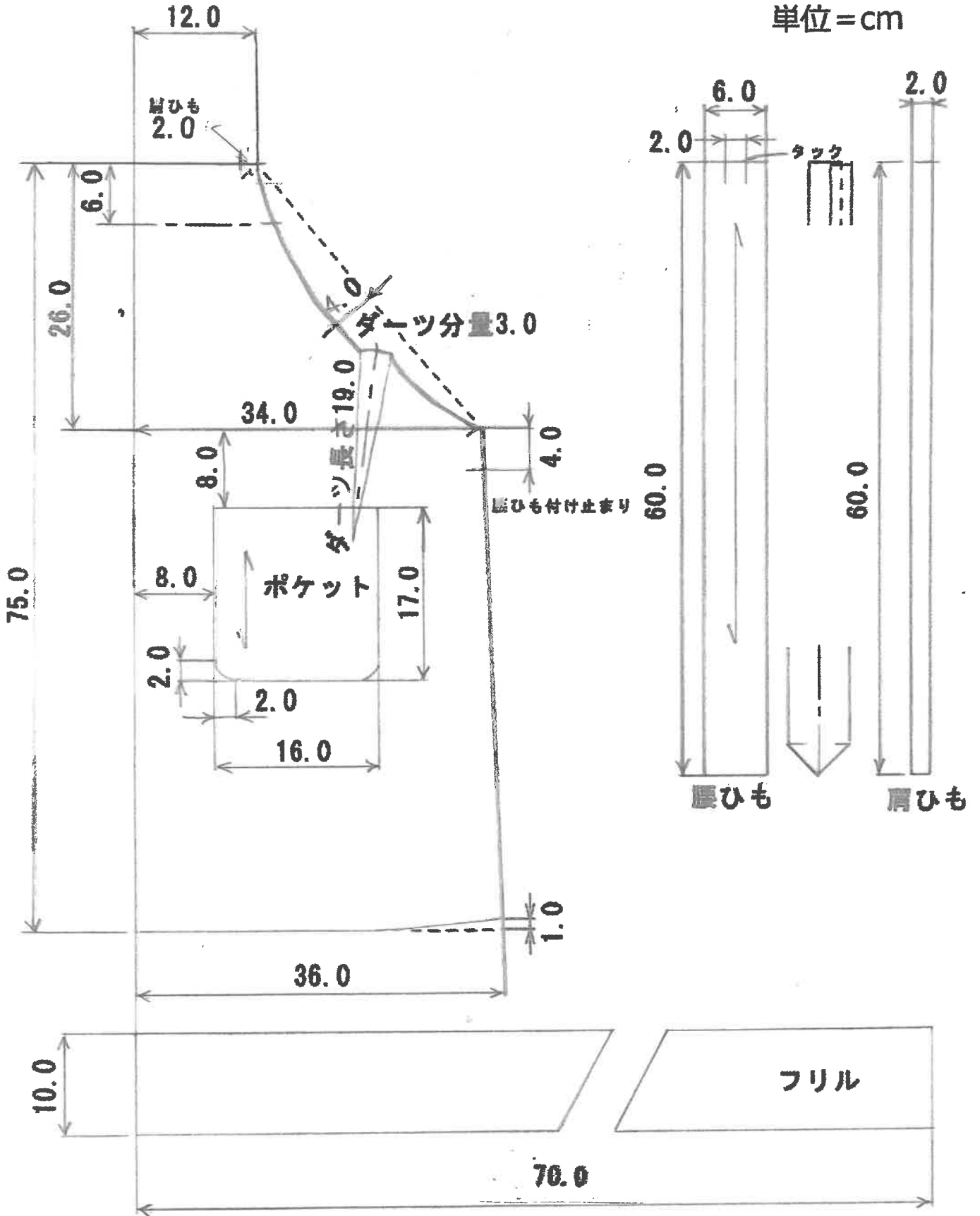
- ・ 前中心側、上部ロック済み
- ・ 裾、三つ折り縫い済み (右側脇は各自の作業となります。)
- ・ ギャザーの縫い目 (2本) 済み (※変更点)



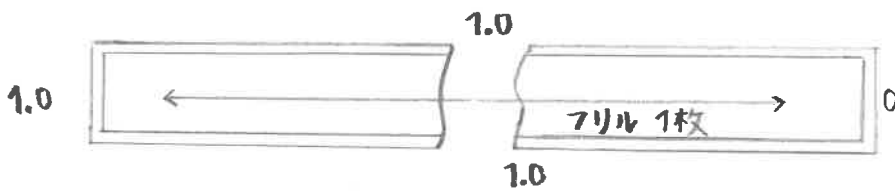
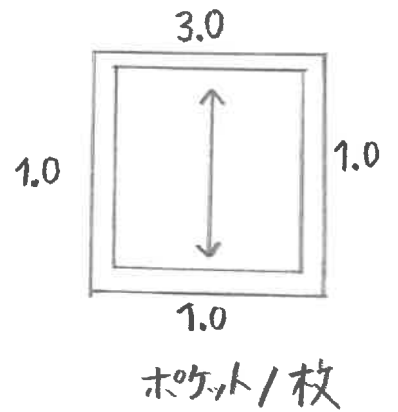
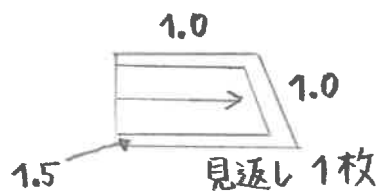
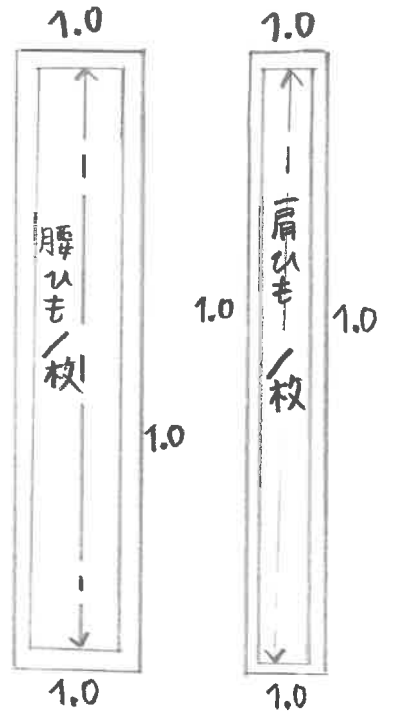
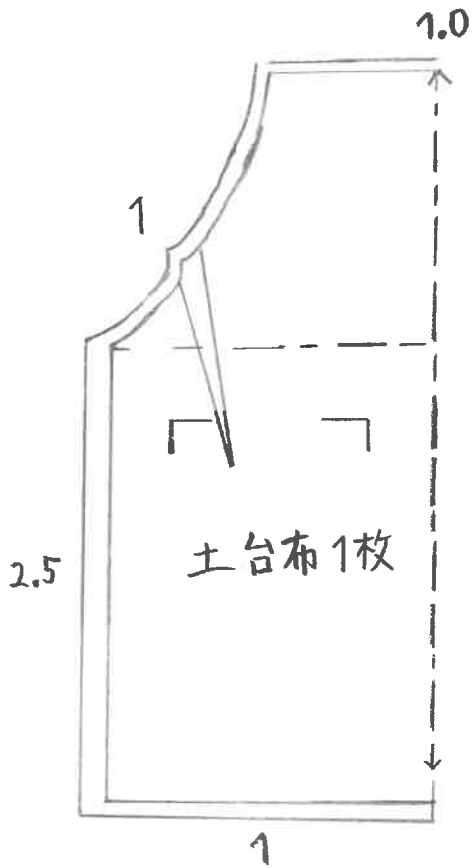
- ◎ 上糸と下糸の残量は、上糸を 3 cm長くしてあります。(糸を引くときに、上糸と下糸の区別をわかりやすくするため。)
- ◎ 脇側 3 cmは、ギャザー寄せ用のミシン糸は縫わないであります。(三つ折りアイロンとステッチをかけやすくするため。)
- ◎ 作業順序が前後するので、あえて 3 cmは縫わないであります。(脇、折りアイロンの作業がしやすいようにするため。)

エプロン (技能競技大会課題製図)

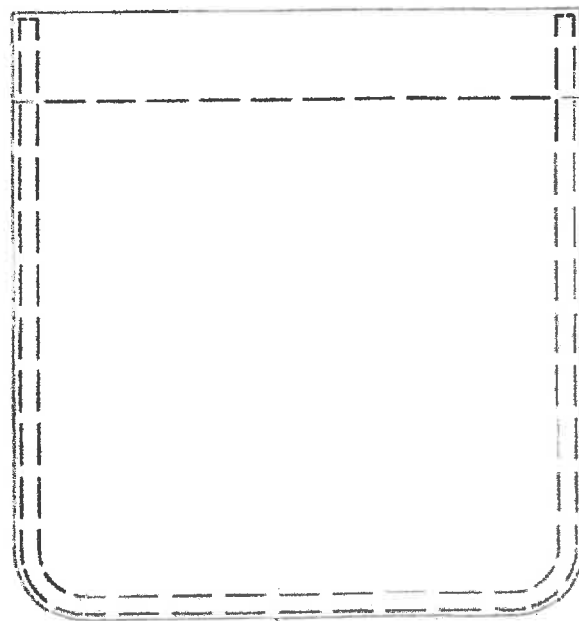
単位 = cm



エプロン縫い代(技能競技課題)



ポケットの付け方 図1



縫い始め
縫い終わり
重ね縫い2CM